

特許明細とODF解析

2022年07月13日

HelperTex Office

概要

極点測定から ODF 解析した結果を特許請求項に記載した事例が見受けられる。

例えば、明細書の方位に関する部分は

JP2013-155397

$\langle 111 \rangle // ND$ が5以上

主方位が $\{111\} \langle 112 \rangle$ で方位密度が10.0以上

$\{310\} \langle 001 \rangle$ の方位密度が3.0以下

WO2011/105609A

ODF $\phi = 0, \Phi = 0$ の $\langle 001 \rangle // ND$ の方位密度が14.0以上

JP3951402

主方位が、ファイ= 90 ± 7.6 度、 Φ : 58から62度、又は-58から-62度、
 $\phi = 45 \pm 7.5$ 度

$\{1241\} \langle 014 \rangle$ の方位密度が3.0以上

JP6651759

$1.51 \geq \{411\} \langle 148 \rangle // \{111\} \langle 112 \rangle \geq 1.01$

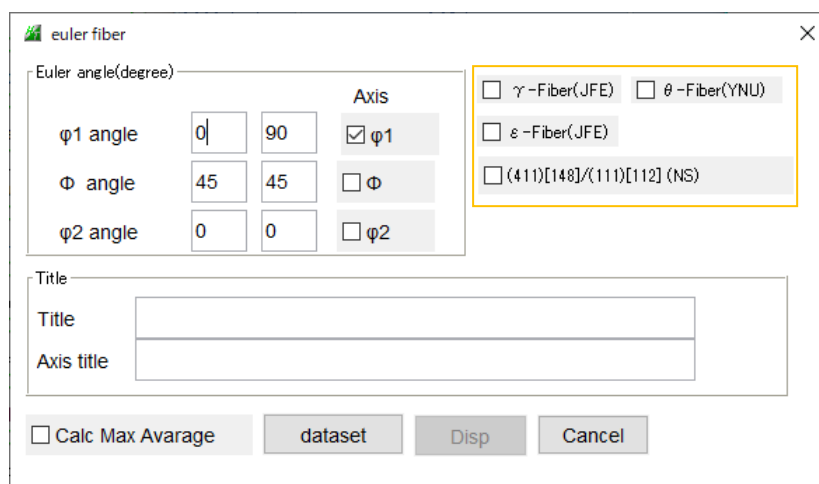
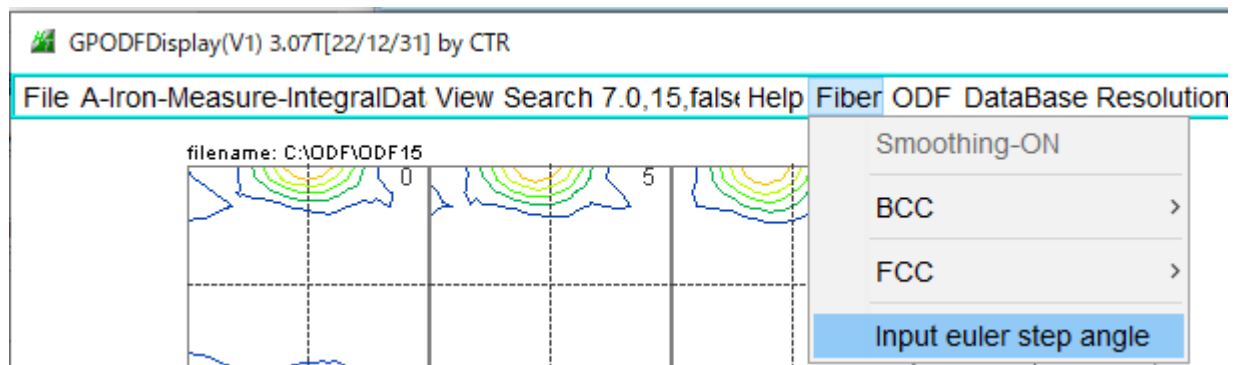
これらの方位はBCCのFiberで扱える。

ODF解析ソフトウェアにより計算される値は異なります。

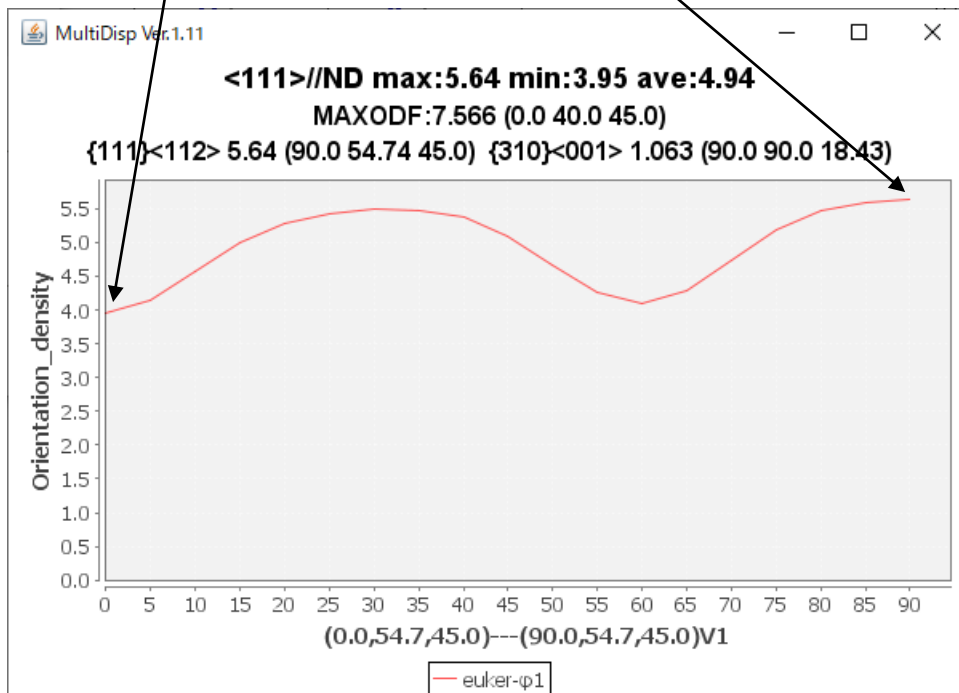
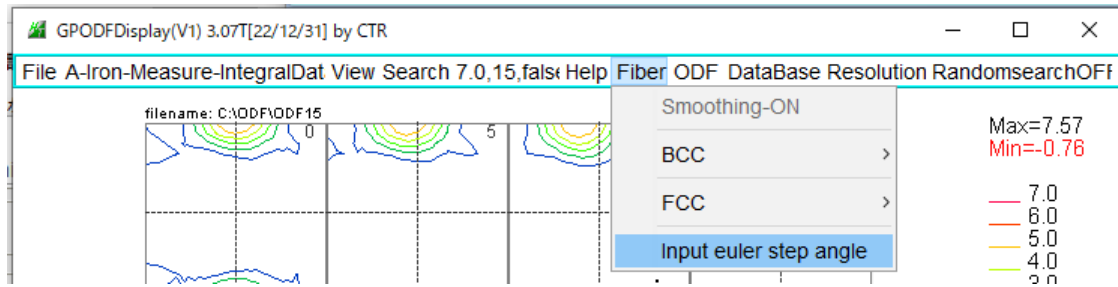
更に新しい明細書の追加も可能

対応

GPODFDisplayのFiber

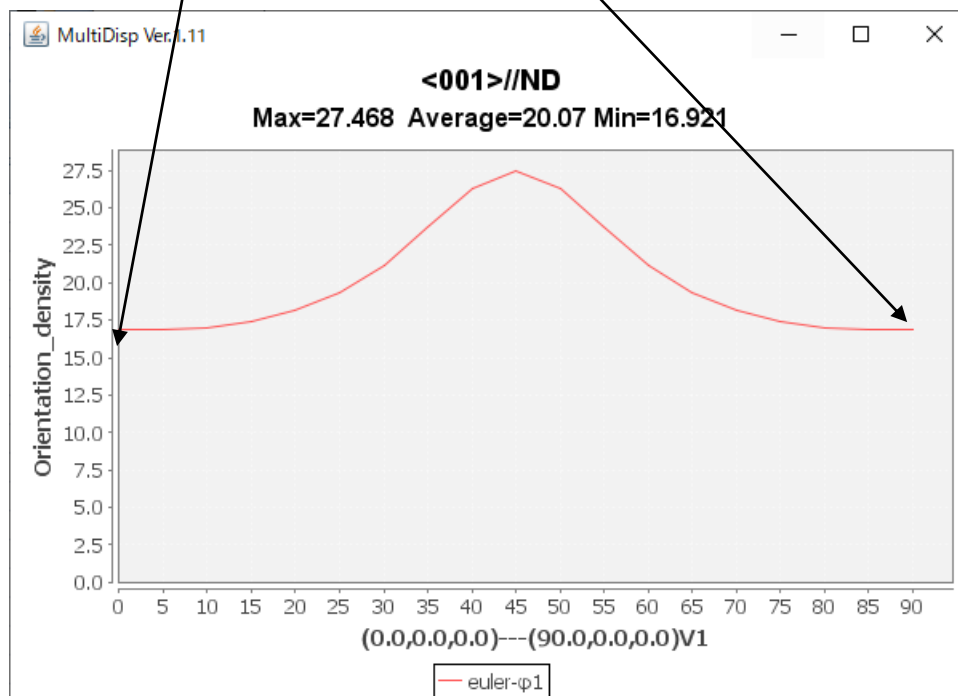
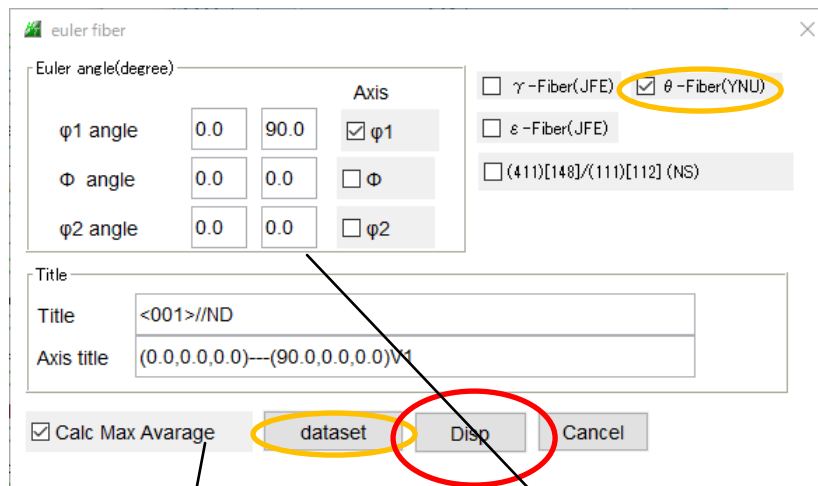
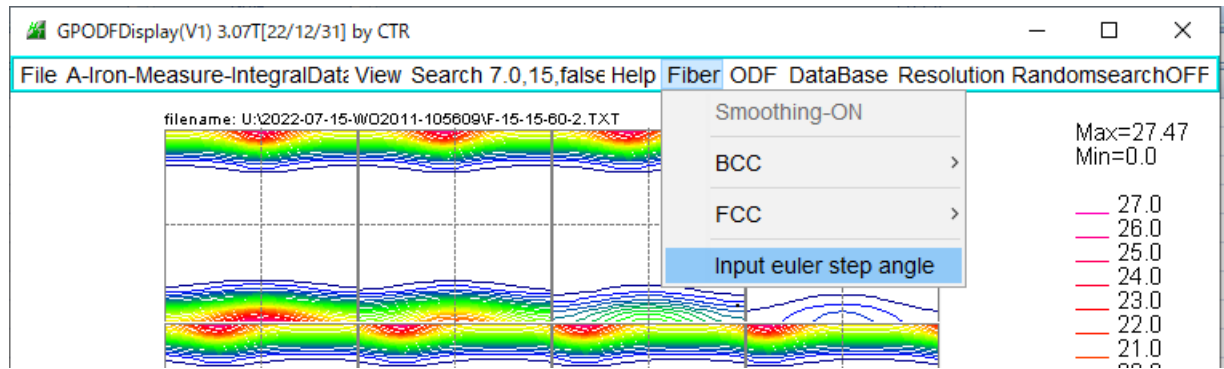


解析データはStandardODF付属Feデータ



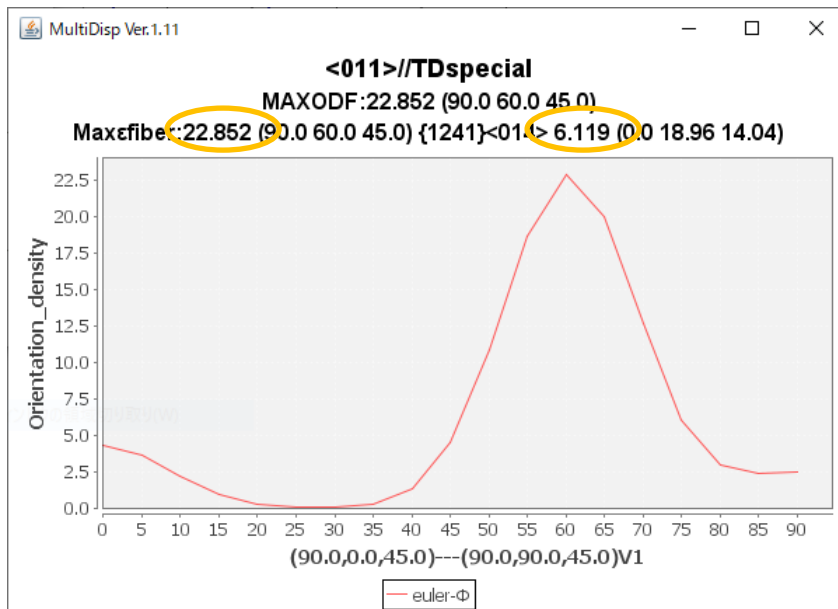
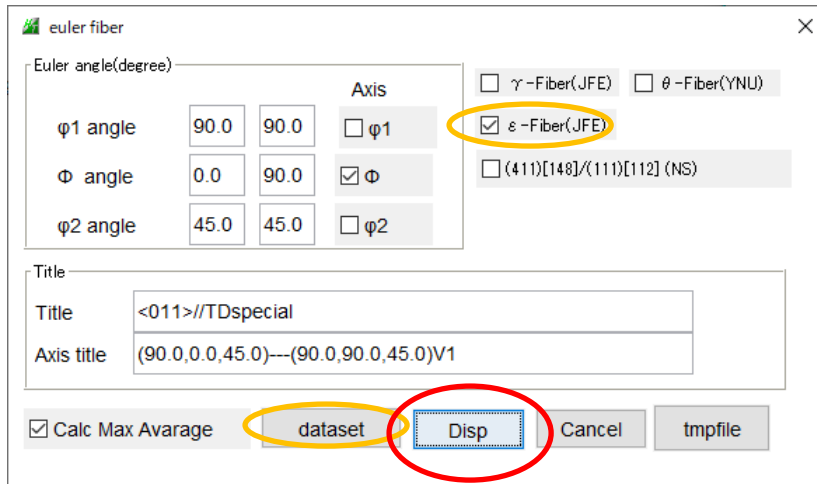
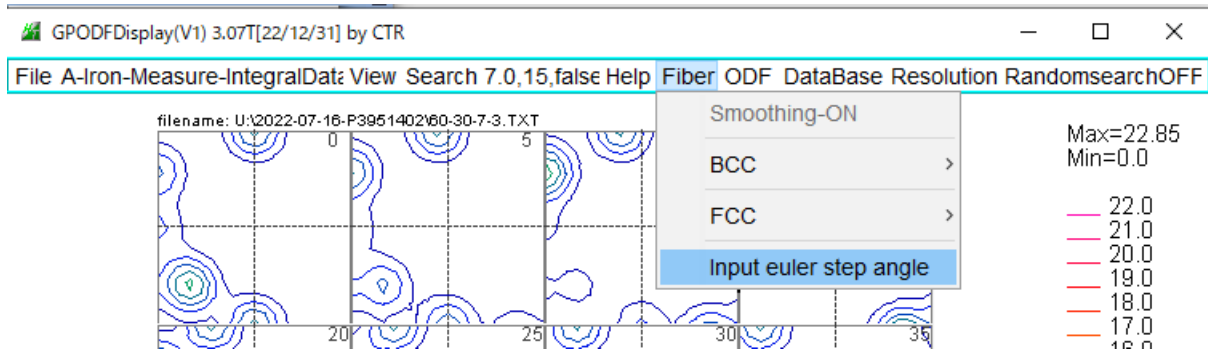
{111} <112>は5.64で10.0以下であり、
StandardODFで解析では特許に抵触しない。
しかし、他のODF解析では異なります。

解析データはシュミレーションにより作成



<111>//NDの最小の方位密度が16.921で14.0以上の為、特許に抵触する。

解析データはシュミレーションデータ



主方位が制限内の ϵ Fiber 最大密度 (90, 60, 45) に一致し

{1241} <014> が3以上のため特許に抵触する

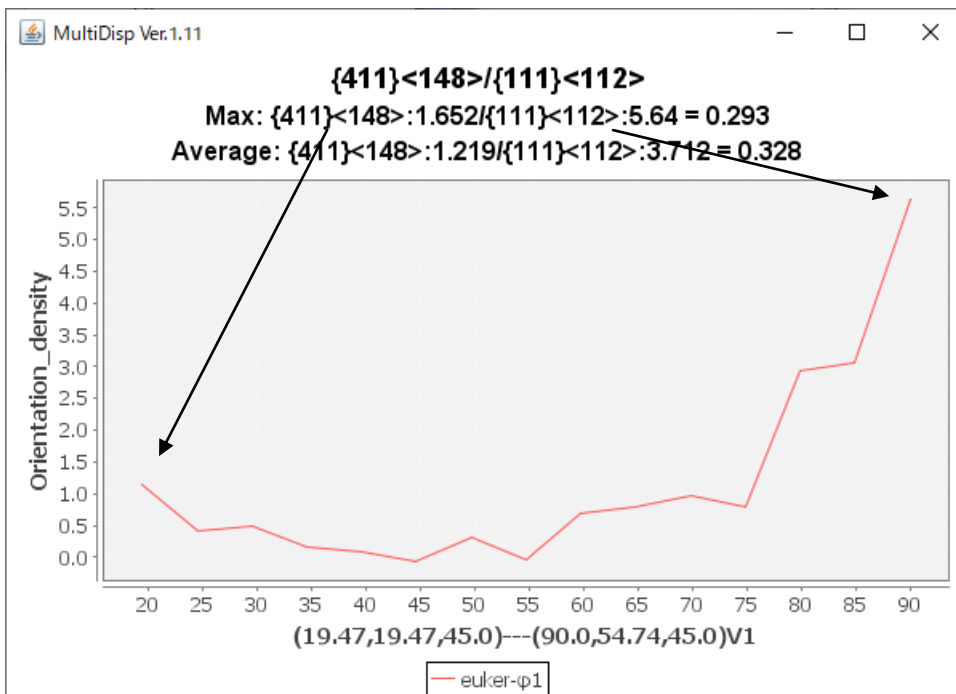
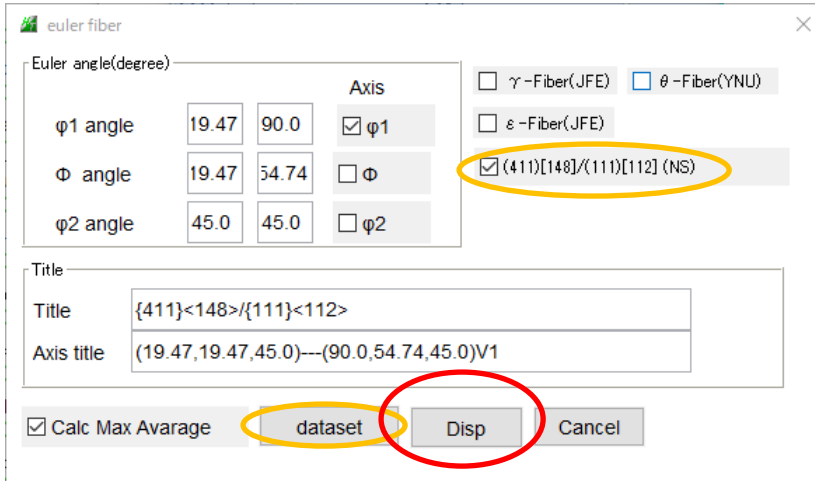
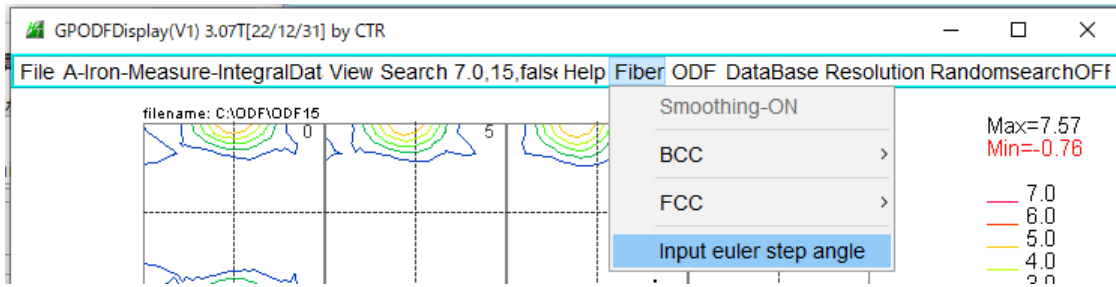
{1241}<014> (12 4 -1)[0 1 4] (76.70,85.48,71.57)

(12 -1 4)[0 -4 -1] (14.81,71.62,85.24)

(4 1 12)[1 -4 0] (0.0,18.96,75.96)

(1 4 12)[4 -1 0] (0.0,18.96,14.04)

解析データはStandardODF付属Feデータ



{ 4 1 1 } < 1 4 8 > / { 1 1 1 } < 1 1 2 > の比率が 0.65 以下で特許に抵触しない

{411}<148>	(4-1-1)[1-48]	(66.16,76.37,75.96)
	(4-1-1)[-1-84]	(27.21,76.37,75.96)
	(-1-14)[4-8-1]	(19.47,19.47,45.0)
{111}<112>	(111)[-1-12]	(90.0,54.74,45.0)
	(111)[1-21]	(30.0,54.74,45.0)